



# とらいあんどぐる



2019 年 1 1 ・ 1 2 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「ピアノが上手な子の お母さん」

母が亡くなって、来月で8年になります。

母がこの紙面でエッセイを書きはじめたのは、遠い昔のことでした。今は私が同じ紙面で、こうして毎月、思うことを書いています。

「私一人で書くようになって、もう8年にもなるのか?!」と、そのことにひどく驚きます。

この8年、一人で書いているのですが、そばにいる母と対話するようにし

て書いた号も多かったように思います。

1つの段落を書くごとに、「ね?お母さん?」と、あいづちを求めるような気持ちです。なんだか、一人で書いている感じがしませんでした。

いつしか、「とらいあんどぐる」を書く時間は、私にとって、母と対話をする時間になっていたようにも思います。

ですが、今月号のテーマは、母が生きていたら、もしかしたら書くことを止めたかもしれない、と思います。

「ああ、私はとうとう禁断のテーマに手をつけようとしている!」と、興奮します。

これが8年という歳月のなせるわざ  
なのでしょう。

昔話です。

娘のキョウコが、まだ小さかった頃  
のことです。当時、キョウコは小学生  
だったように思います。

私が家に帰り、まさに家に入ろうと  
すると、家の中からピアノの音がきこ  
えてきます。娘のキョウコがピアノを  
弾いています。

私がいけないのに、ちゃんと練習をし  
て感心、感心・・・というわけでもあ  
りません。

よくきいてみますと、ものすごい速  
さで、乱暴に弾いています。

本人は完全にピアニスト気取りで、  
自分の世界にひたっているのが、目に  
うかびます。

本人が「カッコいい」と思う理想の  
テンポで、良い気分で弾いているので  
す。

まだそんなテンポでは弾けない状態  
ですから、音は飛んでいますし、違う  
音もたくさんあります。リズムもおか

しなことになっています。

きけばきくほどめちゃくちゃです。

私は、家に飛び込んで制止したい気  
持ちをぐっところえ、家に入らずに、  
駅前に買い物に出ます。迷ピアニスト  
の気が済むまで、時間をつぶすため  
です。

また別のある時には、家の前に立つ  
と、練習しているはずもない曲がきこ  
えてきます。まだまだキョウコには手  
の届かない、難しい曲です。

どのくらいかけはなれているかとい  
うと、キョウコはまだ、ソナチネアル  
バムの中でもごく簡単なものしか弾け  
ないのに、弾いている曲はベートーベ  
ンの「熱情もどき」、であったり、「月  
光もどき」であったり、「ワルトシュタ  
インもどき」であったりするのです。  
「ああ、ベートーベンソナタがマイブ  
ームなのね・・・」と、分かりやすく  
ておかしくなります。

それも、“すごくカッコいい” 一部分  
だけです。

もちろん、全然、弾けていません。

ところが、何の曲を弾いているか分かる程度には、弾けています。

つまり、これがはじめて弾いたというわけではないのです。それまでに何度も何度も、自己練習、いわば“秘密の特訓”をしてきたことをうかがわせます。

それらはすべて、私のいないところでおこなわれていたのです。

その証拠に、外出から戻った私が、家に入るやいなや、嵐のような弾き方はぴたっとおさまり、常識的なテンポの、おとなしい演奏になります。曲もいつもの曲です。

その豹変ぶりは、「だるまさんがころんだ」を思わせます。

私がいなくて羽をのばす気持ちにはよく分かります。

私がいれば、どうしても口を出してしまいます。私にとがめられそうな弾き方は、私のいないところでやるしかありません。

いないところでは、何を弾いても良いし、何をどう間違っても、どんな良

くない弾き方をしても、注意されません。実験的なことも、試すことができます。

感情をほとぼしるままに演奏にぶつけることもできます。きいている人がいないので、恥ずかしさありません。

キョウコの様子に、思い出すことができました。

それは、生前の母と何度も話したテーマです。

そのテーマとは、「子どものピアノを上手にする理想のお母さん」についてです。

母は、のべ何千人という生徒さんとそのお母さまに接してきて、おそらく思うところがあったのでしょう。そのテーマが話題にのぼったことは、一度や二度ではありませんでした。



母は私が子どもの頃、こんなことをよくいう人でした。

「あっちゃん、ごめんね。ママ、いつもおうちにいて・・・」

「???」となるセリフだと思えますが、母が考える「子どものピアノを上手にするお母さん」の条件には、実は「留守がち」ということもあったのです。

音楽を表現する時は、時に自分の内面をさらけ出すことになります。

しかし、感情のたかぶりを、そのまま音にしてしまうことは、ちょっと恥ずかしいこともあります。思春期は特にそうです。

家族に見られることは、ブレーキになります。

思い切り表現する経験は重要なのですが、それには、人目を気にせずに、自分だけの世界にひたることができる場が必要です。

そして、そんな時は、指使いを正しくとか、音を正しくとか、リズムがどうか、そういうことをすつとばして、

音楽に体当たりします。

心の躍動にブレーキがかかってしまっただけなのです。

間違えないように気をつける気持ちも、間違えないようにしろという人やいいそうな人の存在も、ブレーキになってしまうことがあります。

誤解をうむかもしれませんが、最後に、母がいていた通りのことを、できるだけ正確に書かせていただきます。

ここまで書いて、私はようやく気づきます。

母は、自分のメッセージをそのまま伝えることに反対などしない、と。

反対をするわけがない、と。



誤解なんか、おそれる人ではなかったことを思い出し、今、ほかならぬ母が私の背中をおしていることを、感じています。

母は、こんなふうにいいました。

子どものピアノを上手にする理想的なお母さん。

それは、音楽のことをよく知らない人。

音楽は好きだけれど、楽器の経験がない人がベストね。できればピアノは弾けないほうが良いわ。

もしくは、音楽が分かっている、分かっていないふりができる人。

少なくともごちゃごちゃいわない人ね。ごちゃごちゃっていうのはね、「音が違う」とか、「拍がズレた」とか、そういうつまらないことよ。

お母さんはね、多少、間違っている箇所があっても、それに気づかず、「上手ね！」って、心からほめてあげられる人が良いのよ。

間違っている箇所を正すのは、先生の仕事であって、お母さんの仕事ではない。

お母さんの仕事は、ただひとつ。

「うちの子が一番、ピアノが上手」って、信じてあげることよ。

「うちの子は天才だ」って、お母さんが心の底から信じたら、その子どもは幸せだよ。家の中、それも一番近いところに、最大の理解者がいるのだから！

私のお母さんは、明治に生まれた女性だったわ。音楽が好きでいつも歌を歌っていた。

でも、ピアノなんて、触ったことがない人だったわ。私が子どもの頃は、ピアノなんて学校に1台あれば良いほう。そんな時代だったんですもの。

私のお母さんは、いつもこんなふうにいるのよ。

「カズコはすごいわね。こんなに複雑な楽器を弾けるなんて」

「カズコはこんなに難しそうな曲を弾けるの！」

「カズコみたいにピアノの上手な子は、よそにはいないんじゃない？」

そういわれて、どれだけほこらしかったか！

私は、そのたび、有頂天になったわ。  
もっともっとお母さんを喜ばせたい、も  
っと上手になってお母さんをびっくりさせ  
たい、その一心で練習をしたのよ。

夢中で！

お母さんが歌っている歌を、いつかピ  
アノで弾いてあげたいって、そう思ってい  
た。

「もっと練習しなさい」なんて、一度もい  
われたことなかったわ。一度も！

ましてや、「そこ、違うわよ」なんて、い  
われる心配、ひとつもなかった。ひとつ  
も！

私は、ほめられて、愛されて、そしてこ  
の上なく自由だったの。

ここだけの話、お母さんがピアノの先生  
というのは、ものすごく不利だと思うわ。

お母さんが専門家であったら、そのお  
母さんは留守がちであるべきだわ。

いつも見張っていてはいけないのよ。

そして、もしお母さんが専門家だったら、  
他の家族に、その子の演奏を心から上手  
だと思って、常に手ばなしでほめてあげる  
人がいなくてはいけないわ。

ほかにも大切なこととして、お母さんは、  
音楽を心から愛し、子どもにも愛情深い  
人であってほしいわ。

自分の愛する子どもに、自分の愛する  
音楽を与えたい。その気持ちに勝るもの  
はないわ。

結局ね。最強なのは、音楽好きの素人  
よ。

これにはかなわない！

絶対にはかなわない！

(江口 彩子)



## ◆「音楽の集い」を開きました

11月3日（日）に、「音楽の集い」を開きました。「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。

「音楽の集い」は、昨年20周年でした。21年目の今年は、新しいスタートを切るような気持ちで臨みましたが、それにふさわしく、はじめてご参加くださる方や、新たな試みに挑戦してくださる方もいらっしゃり、たいへん充実した会になりました。ご参加くださった方と、あたたかな拍手をおおくりくださったお客様に、心から御礼を申し上げます。

来年の「音楽の集い」は、今年と同じ文化の日、11月3日（祝）です。「何か、楽器をはじめてみたいな」、「一度、舞台上に上がってみたいな」とお考えの方、じゅうぶんに間に合います。

一音会でレッスンを受けていらっしゃる方はもちろんですが、一音会の生徒さんのご家族なら、ご参加いただけます。ぜひ来年に向けて、ご準備をおはじめください。

「音楽の集い」にご参加くださる方には、ご準備のためだけの「スポットレッスン」をご用意しています。スタッフ一同、全力でお手伝いをさせていただきます。「スポットレッスン」とは、発表に照準をあてた、1回～3回の短期個人レッスンです。入会金等の費用は発生しません。

また来年の文化の日、「ひびきホール」でお会いしましょう。



## ◆「ピアノ・トライ」にご参加ください

2019年1月より、「ピアノ・トライ」をおこないます。1年のはじめであり、年度をしめくくろうという時期でもあります。

この1年の進歩を確認し、これからさらなる成長へとつなげるための、大切な行事です。

コメンテーターの先生は、過去にご参加くださった際のデータもふまえ、生徒さんの成長を見ています。1年に1度の「定期診断」とお考えになって、ぜひご参加ください。

お申し込みいただける日は、12月4日（水）と12月7日（土）の2日です。先着の方を優先に、ご希望の時間帯に入っていただくため、たいへん勝手ながら、お電話のみで受け付けさせていただいております。一度に6本つながる回線で受けておりますが、時間によってはそれをこえる方がかけてくださることもあり、つながりにくいことがあるかもしれません。その場合は、申し訳ありませんが、おかけなおしてください。

くわしい要綱については、先月号の「とらいあぐる」に載せましたので、ごらんください。

なお、「ル・コンセール」は、2月9日と2月23日の2回、予定しております。「ル・コンセール」とは、「ピアノ・トライ」ですてきな演奏をしてくださった生徒さんに、ご出演をお願いするコンサートです。「ル・コンセール」は、参加費無料です。





## ◆「フォルテの会」を開きます

2月2日（日）に、「フォルテの会」を開きます。場所は「ひびきホール」、入場は無料です。

「フォルテの会」は、ヴァイオリン、フルート、作曲、声楽などの副科と、「うたくらぶ」（合唱）の生徒さんたちの発表会です。

副科に興味をお持ちの生徒さんやご家族の方には、ぜひ足を運んでいただきたいと思っています。

「フォルテの会」についてのくわしいご案内は、追ってプリントをお配りするとともに、ポスターでもお知らせいたします。



## ◆客員教授プリドノフ先生ご夫妻が来日します。

3月に客員教授のユージン・プリドノフ先生、エリザベス・プリドノフ先生のご夫妻が来日されます。プライベートレッスン、コンサート、オーディションを予定しています。

日程は、以下のとおりです。コンサートの場所は、「ひびきホール」です。コンサートの時間やプログラムにつきましては、追ってお知らせいたします。コンサートの日は、ぜひご予約をあけておいてください。

レッスン	: 3月14日（土）・15日（日）・16日（月）
コンサート	: 3月20日（祝）
オーディション	: 3月22日（日）15:00～予定

今回、先生方のご厚意もあり、すべてのスケジュールを土日に重ねる形にさせていただくことができました。お一人でも多くの生徒さんに、この機会を活用していただきたい気持ちからです。

客員教授の先生のレッスンは、大きな生徒さんや上級の生徒さんだけのものではありません。五線読譜が完了していれば、どなたでもお受けいただけます。過去、未就学の生徒さんで、レッスンを受けてくださった方も、多くいらっしゃいます。

レッスン用に大きな曲をご用意いただく必要もありません。普段のレッスンで進めている曲で大丈夫です。

レッスンは英語です。通訳の要、不要も、あわせてお申し込みください。ご質問、ご相談は、本部でもお受けできます〔本部電話：03-5966-7711・担当：谷口〕。

30分レッスン……レッスン料（12500円）＋通訳（2500円）→ 15,000円

45分レッスン……レッスン料（18750円）＋通訳（3750円）→ 22,500円

60分レッスン……レッスン料（25000円）＋通訳（5000円）→ 30,000円

オーディションの要綱は、1・2月合併号でお知らせいたします。



## ◆在籍生徒さん向けのキャンペーンについて

例年、1月中旬より、生徒さんが新年度からのレッスンをお決めになるお手伝いとして、いくつかの体験レッスンをご用意しています。毎年、多くの生徒さんがご利用くださっています。

体験したら、そのコースをとらなくてはいけない、ということは、一切ありませんので、お気軽におためしください。

今年度の体験レッスンは、3種類です。お分かりにならないことは、ご遠慮なくおたずねください。ご相談に乗りながら、おすすめの体験レッスンをご案内いたします。

### 1. アドバンスAのピアルレッスン30分体験

アドバンスAの先生のレッスンは、通常期間、体験していただく場合、体験料のご負担が重いですが、キャンペーン受付期間(2019年1月15日～2月16日)にお申し込みいただいた場合にかぎり、下記の体験料でお受けいただけます。

30分レッスン     2470円     (全ての曜日共通)

「〇〇先生のレッスンを」と、担当先生を指名していただくことができます。すべての方が対象です。アドバンスAのレッスンをすでに受けていらっしゃる生徒さんも、他の先生のレッスンをおためしいただけます。

「どの先生で受けたら良いか分からない」という場合は、本部にご相談ください。

### 2. リトミックレッスン無料体験

原則として、お一人、1回とさせていただきます。(年齢構成や担当や曜日など、複数回おためしになりたい場合は、ご相談ください。)

すべての方が対象です。

特に、現在、リトミックをお受けになっていらっしゃらない方は、ぜひ体験レッスンをお申し込みください。かつてリトミックをなさっていた方も、今現在の年齢のクラスをおためしになることをおすすめします。

最近、リトミックのレッスンを受講しない生徒さんがいらっしゃいますが、リトミックでしか扱わない教材もあり、原則、すべての方におとりいただくことをおすすめしています。リトミックでは、主にリズムや表現を学んでいただけます。

一音会を卒業した生徒さんの中で、演奏家として活躍されている方は少なくありませんが、皆さん、例外なくリトミックを受講しています。

### 3. レギュラーのピアノレッスン30分無料体験

お一人、1回のみとさせていただきます。

現在、ピアノを受講していない生徒さんが対象です。

現在、リトミックを受講していらして、ピアノをおはじめになることを検討していらっしゃる生徒さんに、ぜひ活用していただきたいと思います。

ピアノをおはじめになる年齢に達していらっしゃる生徒さんで、まだ絶対音感のレッスンをお受けになっていない生徒さん(ベビーリトミッククラスの生徒さん等)は、絶対音感のレッスン(20分)を無料でご体験いただけます。

1と2は、2020年1月15日～2月16日、3は、2020年1月15日～4月19日を、キャンペーン受付期間とさせていただきます。



## ◆インフルエンザが流行りはじめています

寒くなり、またこの季節がやってきました。インフルエンザの流行です。

スタッフも、普段以上に、体調管理に注意を払いつつ、生徒さんの間で感染がおこらないよう、気を配っています。

生徒さんにも、レッスンの前後に手を洗うなど、予防につとめていただきたいと思います。咳やくしゃみが出る場合は、マスクをご着用ください。教室でも使い捨てマスクをご用意していますので、ご入用の際は受付でおっしゃってください。皆で元気に冬を乗り切れますよう、ご協力を、よろしくお願いいたします。

## ◆1年間、ありがとうございました

今年も、もうすぐ終わろうとしています。

おとなにとっては、あっという間の1年ですが、お子さまの成長の中では、かけがえのない1年です。大切な時間をお預けくださいましたことに、改めて感謝の思いを強くしています。お子さまの貴重な1年を見守ることができた幸せを、かみしめています。本当にありがとうございました。

新しい年も、皆さまにとって、素晴らしい1年となりますことを、お祈り申し上げます。

冬休み中、一音会本部は12月24日（火）より1月7日（火）まで、お休みをいただきます。勝手ながら、その間は、電話でのご相談もお休みさせていただきますこと、どうかご了承ください。

\*\*\*\*\*

\*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[1000@ichionkai.co.jp](mailto:1000@ichionkai.co.jp)

電話：03-3954-9999

\*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

\*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。



## 2019年のあゆみ

- 1月7日 2019年 レッスン開始日
- 1月26日・27日, 2月3日・11日・16日・17日 全 6日間  
ピアノ・トライ 於 バッハはうす
- 2月3日 第20回「フォルテの会」 於 ひびきホール
- 2月10日 第62回「ル・コンセール」 於 ひびきホール
- 3月3日 第63回「ル・コンセール」 於 ひびきホール
- 5月18日～20日 プリドノフ先生ご夫妻 レッスン 於 ヘンデルはうす
- 5月25日 プリドノフ先生ご夫妻 コンサート 於 ひびきホール
- 5月26日 第13回「ジュニア・コンサート・オーディション」  
於 ひびきホール
- 4月7日～ 2019年度レッスンスタート
- 6月13日 第13回「ジュニア・コンサート」 於 ゆめりあホール
- 7月13日～25日 リハーサル・トライ 於 ヘンデルはうす
- 8月2日～5日 2019ピアノ発表会 於 葛飾シンフォニーヒルズ  
アイリスホール
- 11月3日 第21回「音楽の集い」 於 ひびきホール
- 12月23日 2019年 レッスン最終日

